

リハビリ通信

第 21 号
令和 4 年 12 月 1 日
リハビリ通信担当発行

1. リハ科教育

当科ではスタッフの研鑽を目的として、教育係を中心に勉強会などを定期的に行っています。

9 月には新人スタッフ 4 名による症例報告会を行いました。新人スタッフにとって、初めて先輩スタッフの前で自身の症例報告を発表する機会となりました。かなり緊張した様子が見られましたが、いざ発表となると大きな声で発表し、先輩からの質問にも自分の考えを返していました。発表自体が初めてのスタッフもあり、症例報告書をまとめるにあたってアドバイザーに助言してもらいながら資料を作成していました。

当院の教育プログラムでは、新人スタッフに対して年 2 回の症例報告をする機会を設けています。わたし自身はそうでしたが、新人時代の症例報告会はかなりの重圧を感じるイベントの一つでしたの



で、さぞ緊張や不安などでエネルギーを使ったのではないかと思います。しかし、この経験はまちがいなく今後のキャリアに活かされていくものです。今回の症例報告において学んだことやアドバイス等を今後の臨床に活かし、次回の発表ではより専門的なテーマをもって臨んでいくことを期待したいと思います。新人スタッフの皆さん、お疲れさまでした！

また、症例報告にご協力いただいた皆様、この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



2. 勉強会

科内で自己研鑽としての勉強会を行いました。

7・8月は新人・若手スタッフ向けに触診の勉強会を行いました。



若手スタッフがそれぞれ講師となり、実習形式で行いました。熱心に取り組んでいる様子が見られ、筋肉や関節をうまく触診する方法についてアドバイスを聞いたり、試行錯誤したりしていました。また、講師をしていたスタッフは教えることの難しさを実感したという言葉も聞かれました。互いに貴重な経験になったのではないかと思います。

8月は医療安全・感染対策の研修を行いました。嘔吐物の処理について実際に模擬教材を使用して行いました。



9月は本部開催のセーフティーネット・急性期領域のリハについて各研修を受講したスタッフによる伝達講習がありました。



3. 宇都宮農園

リハビリテーション科屋上テラスにて園芸療法として農作物を育てています。

夏ごろになるとピーマンやオクラ、ナスなどの花が咲き始め、徐々に実もついてくるようになりました。屋外で訓練した患者さんからは良く気付いていただき、たくさんの野菜を収穫することができました。今年は天気のいい日が多く、色付きの良い野菜が多かったように思いました。



第76回国立病院総合医学会

今年は熊本県にて10月7・8日の日程で3年ぶりの現地開催となりました。当院からは下記のタイトルにて当学会へ職員が参加しました。

「当科における2、3年目職員への教育」 月岡亮、鈴木裕介

学会 URL : <https://www.c-linkage.co.jp/76nms/>

4. リハビリテーション室からの風景



夕立後の男体山



夕日と男体山



筑波山と平出工業団地



七夕・短冊



雪を被った男体山



紅葉になった院内の森



正門の紅葉と雲海



皆既月食

今年も残りわずかとなりました。大掃除を始める方もいらっしゃるかと思います。床においてある重いものを持つときなどに腰を曲げて動作すると腰を痛めてしまうリスクが高くなります。腰を落として胸を張る姿勢で動作すると、腰痛予防だけでなく股・膝関節の筋肉を使うため、案外軽く持ち上げることができます。体に気を付けて、よいお年を迎えらえるようにしましょう。